

「リスペクト」を掲げて (大阪府サッカー協会審判委員長 小川光)

次回発行 10月予定

大阪府サッカー協会所属審判員として、日頃より委員会事業にご協力いただきありがとうございます。日本サッカー協会では「リスペクト」の推進を掲げてサッカー文化を発展させようとしています。我々審判員も選手、監督スタッフ、競技役員、観客の方々などサッカーに関わる人々をリスペクトし、リスペクトされるように日頃から研鑽に励まなければなりません。審判技術や体力だけでなく、サッカーという競技について理解を深め、人間性の向上に努めてください。

RESPECT PROJECT



大切に思うこと

●月例勉強会

今年度はじめの勉強会では、2級審判員の和田雄次氏による「フラッグテクニック」の講義とグループに分かれて最近のレフェリング分析を行いました。

(4/27開催 3級審判 一木大治朗氏) 2009年度最初の月例勉強会ということで、まずは自己紹介、そして副審のフラッグテクニックの話に割当のあった試合を基にした討論発表と、



熱の入ったグループ討議

充実した内容の2時間でした。また新たに参加された方も多くいらっしゃいました。私自身は指導育成部に参加して足掛け3年目になりますが、見聞きするだけでは掴みきれないことが試合では数多くあり、なかなか自身の進歩というものを感ぜられず、話には理解を追いつかせるのがやっとという状況が続いたりもしました。今年に入ってから個人的な環境の変化などもあり、様々な葛藤や悩みなどもありましたが、特に最近になり、試合を観戦しながら自分で取ったノートなどを読み返したり、これまで勉強したことを振り返る機会ができました。少しずつですが以前では気付かなかったことに気付いていると実感が生まれ、今年も指導育成部に参加できていることのありがたさというものを感ぜました。

それでも経験には敵わないともよく言われますが、体力も技術も一日にして成るものではありません。現在は勉強会に加えトレセンなど非常に充実した環境を頂けていますが、まずは続けていけること、その中で勉強会でもトレセンでも、どこかで一緒に頑張っていけて何か自分の中に残るものがあればいいのかなと思っています。その為にも、心に少し審判活動を楽しめる余裕みたいなものを持って、これからも頑張っていきたいと思います。



和田氏によるプレゼンの様子

<各種研修会報告>

●ユース審判員観戦研修会(6/7開催)

インターハイ予選の決勝リーグ最終日(高槻総合陸上競技場)を利用して行いました。高校生審判員5名が参加してくれました。熱心に取り組む姿勢は、将来に大きな期待を抱かせます。



スタンドから試合を観戦しながら、解説に耳を傾け疑問点は質問します。

(3級審判 光田智乙氏) 僕自身、学校の部活との関係で、今回の研修が二回目の研修となりました。同じ年代の人達と一緒に研修出来る機会は、とても貴重でいい刺激になりました。分からない点は質問したりして解決でき、今後につながると思います。今後も指導育成部の皆さんと頑張っていきたいです。最後に中川さん、大原さん、黒島さんの指導は丁寧で分かり易かったです。ありがとうございました。

2級審判員昇級者の紹介

●高松大貴氏(09年7月昇級)

今回2級に昇級できたことは指導育成部の勉強会やトレセンでの経験が一番大きいと思います。また、会場等でたくさんの方々からアドバイスを頂いたおかげだと思っています。これからも会場などでお世話になるとは思いますがよろしくお願いします。

●指導育成トレセン(7/13開催)

5月に予定されていたトレセンは、インフルエンザの流行があった為、自粛しました。その結果、今回が2009年度最初のトレーニング会となりました。



トレセンの風景
 @南津守セレッソ人工芝

指導育成部今後の予定

8/29(土)~30(日)

全体宿泊研修会

9/17(木)19時~

月例勉強会(大阪府協会)

10/19(月)19時~

指導育成トレセン(南津守)

11/19(木)19時~

月例勉強会(大阪府協会)